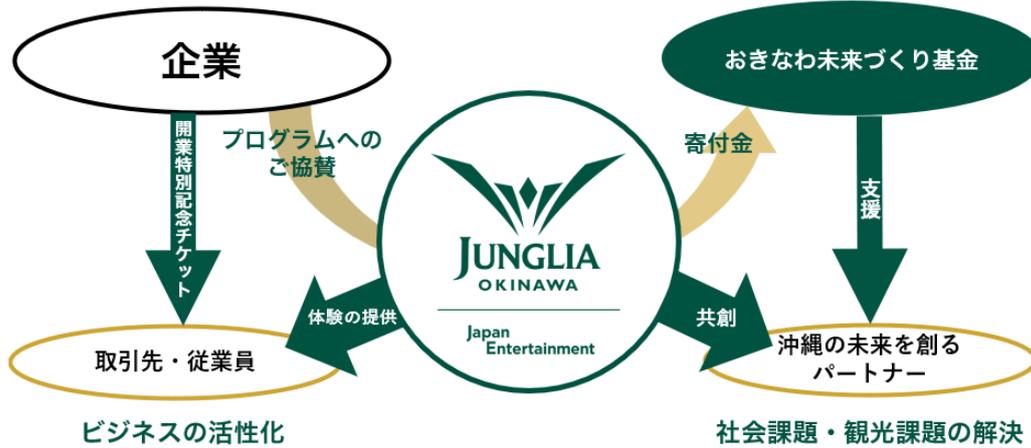


沖縄北部テーマパーク ジャングリア沖縄
 沖縄の社会・観光課題に挑む「おきなわ未来づくりプログラム」を始動！
 県内を中心に約20社と共創へ

おきなわ未来づくりプログラム



2025年7月25日（金）開業予定の大型テーマパーク ジャングリア沖縄を運営する株式会社ジャパンエンターテイメント（沖縄県名護市：代表取締役 CEO 加藤健史、以下ジャパンエンターテイメント）は、沖縄県内企業を中心とした約20社（2025年6月17日現在）と共に沖縄の社会・観光課題の解決に挑む「おきなわ未来づくりプログラム」を始動しました。

おきなわ未来づくりプログラムについて

「おきなわ未来づくりプログラム」は、県内企業がジャングリア沖縄のパーク入場チケットをビジネスに活用し、沖縄の社会・観光課題の解決に寄与できる新しい取り組みです。企業が特別な企業ロゴ入りパーク入場チケットを購入し、従業員や取引先への贈り物として活用することで、自社のビジネス活性化に繋げることができます。さらにその参加費の一部が本プログラムのために設立された「おきなわ未来づくり基金」へ寄付され、沖縄観光の未来を担う高度観光人材の育成や地域教育、ひとり親家庭への支援、自然や文化の保全、観光業の魅力発信など幅広く活用されます。このプログラムは「ビジネス活性化」と「社会貢献」という二つの価値を実現し、持続可能な沖縄の未来づくりに貢献していきます。

・参画企業一覧（一部五十音順）

現在、沖縄企業を中心とした約20社が本プログラムに参画しています。今後も沖縄の持続可能で豊かな未来の実現に参画いただけます。お問い合わせ URL：<https://x.gd/naFtH>

ROS 株式会社、株式会社 ASAKA、株式会社沖縄海邦銀行、株式会社沖縄銀行、沖縄セルラー電話株式会社、沖縄トヨタ自動車株式会社、株式会社おきなわフィナンシャルグループ、三栄工業株式会社、第一交通産業株式会社、株式会社日建ハウジング、株式会社丸金交通、株式会社前田産業ホテルズ、三菱UFJ 信託銀行株式会社、株式会社リウボウ、株式会社琉球銀行、琉球セメント株式会社、株式会社屋部土建、株式会社ゆがふホールディングス

《 2025 》 JUNGLIA OKINAWA 開業記念特別チケット



(チケットイメージ)

・おきなわ未来づくり基金とは

おきなわ未来づくり基金は、ジャパンエンターテイメントと協賛企業が共創し、沖縄の未来を共に創ることを目指して設立された基金です。この基金への寄付を通じて、高度観光人材の育成やひとり親家庭への支援、自然・文化の保全、観光業の魅力発信など、沖縄が抱える社会・観光分野の課題解決に向けた多様な取り組みを支援します。

・第一弾支援先決定

「おきなわ未来づくり基金」の第一弾として2つの支援先を決定いたしました。初の支援先は、県内の中学生によるプレゼンテーションを通じて選定し、生徒ら自らが社会課題を見つけ、考え、実行に移しているかを選定の軸としました。両支援先のプロジェクトは、子どもたちが社会と関わる実践的な学びの場となっており、「沖縄の未来を創る」という基金の理念を体現する取り組みです。

1. 沖縄カトリック中学高等学校が企画した、ひとり親家庭を対象とする旅行プランを支援

同校では、「旅の機会が限られてしまうひとり親家庭に旅の喜びを届けたい」という思いから、県内のひとり親家庭100人を対象としたジャングリア沖縄を目的地とする旅行プランを企画。その思いに共感し、ジャパンエンターテイメントは支援を決定しました。

2. 名護市立大宮中学校が推進する「スマイラル」プロジェクトを支援

同校の生徒が設立した笑顔収集社が推進する「スマイラル」プロジェクトは、笑顔を「1回=1円」とし、システムを通して県内の子ども食堂に寄付するというものです。ジャパンエンターテイメントはこの活動に賛同し、年間上限100万スマイル分の寄付を行うことを決定しました。

・株式会社ジャパンエンターテイメントについて

2025年7月25日(金)開業予定の沖縄北部新テーマパーク「JUNGLIA OKINAWA (ジャングリア沖縄)」の企画・開発および運営を目的として2018年6月に設立。「沖縄から日本の“未来”をつくる」をミッションとし、沖縄から日本の観光産業を変革すべく事業を推進。真の地域活性化を図り、沖縄の経済力向上に寄与することが、その土地での社会的課題解決に繋がると確信し事業を進めている。 <https://www.japan-entertainment.co.jp/>